



# 人権ふれあいセンター情報

2024年8月16日

第2号 発行 千曲市人権ふれあいセンター(TEL026-273-3693)

## 「第1回ふれあいセミナー」を実施しました

- ◆講師 中澤 純一 さん(千曲市出身)  
(NPO法人 やじろベー 理事長)
- ◆演題 「高齢者の中にある人権と尊厳について  
～日々の相談の中で、認知症の人も  
介護者も気づかされること～」
- ◆日時 令和6年 6月12日(水)  
(千曲市役所 3階大会議室)
- ◆参加者数 68名



### 【概要】

- 1 「平等」と「公平」の意味の違いから、「認知症」についての正しい理解について解説していただきました。
- 2 「人権」という視点から見つめ直すと「差別的な視点をもつ」というものではなく、「違いを正しく理解する」ことが大切で、「認知症の人も私たちも違いはないのです。」と柔らかい話し方の中にも熱い思いが伝わってきました。
- 3 認知症の人と介護者との事例も交え、感動的な講演会となりました。



### 【参加された皆様の感想から】

- ・違いを理解することの重要性、息子とよく話し合いたいと思った。
- ・一緒に悩んで、泣いて、そこで出た答えが全てということが心に残りました。後悔したくないので、自分も両親も元気な今、一緒に出かけたり、おいしいものを食べに行ったりしています。今まで経験したことをたくさん言葉にしてくださって、心が洗われました。
- ・違う視点でこれから迎える高齢者への見方や考え方を教えてもらい、気づかされました。(身近な関係も自身も)話の内容もつらい、自分ではその時対処できるのか。

## 「第2回ふれあいセミナー」

**講師** 高橋 芳夫 さん（部落解放同盟長野県連合会財務部長）

（演題） 「同和教育の現状と課題」

**日時** 令和6年 7月17日(水) 【参加者数 75名】  
(千曲市役所 3階大会議室)

### 【概要】

1 DVD「長野県水平社創立100年」を視聴。

2 「部落の歴史」（中世から現在まで）：時代の変化と共に差別の形態も変化。

3 「部落差別解消推進法」施行（2016.12.16）から8年経過の状況。

4 ネット上での部落差別の現状。

5 今後の課題

- ① 部落問題に限らず当事者が声を上げられる環境づくりを。（人権のまちづくりを）
- ② 部落差別は目を追うごとに複雑化、悪質化しているので常に学習が必要。
- ③ 多様化する人権課題に向き合うために目標をはっきりとさせる。
- ④ 部落問題を始め、人権教育の指導者育成を。（学校教育、社会教育共に）

### 【参加された皆様の感想から】

- ・同和問題(教育)現状と課題、よくわかりました。日本も千曲市も同和問題を含めた人権教育のさらなる推進が必要と思いました。
- ・部落差別に限らず、当事者が声を上げられる環境づくりをしていきたい。部落差別は続いている。子どもたちへしっかり人権教育を行っていく必要があると思います。
- ・部落差別の歴史や現状について、大人も子どもも正しく学習していく必要があると感じました。同和教育を受けなかった14年間の空白をきちんと埋めていくための学校教育、社会教育をどう進めていくのか大きな課題だと思います。様々な差別をなくしていくために人権教育の指導者の育成と学習環境づくり、人権の町づくりを社会全体で進めていけるようにしていきたいと思いました。

## 日本語教室 開校式

「NPO法人千曲国際交流協会」が主体となり、当センターを会場に、月2回外国から千曲市に来られた皆さんを対象に日本語教室（指導者登録16名）を実施しております。今年度は、4月14日に開講式を行い、毎回熱心に学習しています。



【日本語教室開校式 R6.4.14】



【日本語教室 学習の様子】

## 「つるし飾り」講習会

当センターでは、主催講座として、今年度も講師に滝沢公子様、久保香代子様をお迎えし、「つるし飾り」講習会を実施しています。市報等で募集をしましたが、あっという間に定員となり、今回はお断りしなければならない状況となりました。主催する側としては、大変心苦しい思いでしたが、参加された皆様は、とても意欲的に取り組んでいました。

今年度は、年間6回講座を開催し、様々な制作に挑戦していきます。



【第1回 5月23日実施】



<五つ花>



【第1回 5月23日実施】



【第2回 7月25日実施】



<風船袋>



【第2回 7月25日実施】

## 「第2回男女共同参画セミナー・第3回ふれあいセミナー」



演題 「スマホやネットと上手に付き合える子ども  
～子どもの心を育てる大人の役割～」

講師 **松島 恒志** さん(子どもとメディア信州 代表)

日時 令和6年 8月 1日(木)

※千曲市役所 3階大会議室(参加者数138名)



### 【概要】

- 1 「子どもの情報端末とのかかわりに関するアンケート」から  
(千曲市の小中学生のデータとの比較も含めて)
- 2 ネット被害の事例(いじめの事例、オンラインゲーム等のトラブル)
- 3 大人ができる対策について(無理な制限はしない、子どもとの話し合いで  
少しずつ解決していくことが大切、開かれた親子関係を築いていく)
- 4 動画によるまとめ(子を思う母親の事例より)

### 【参加された皆様の感想から】

- ・小学生、園児の子がいますが、大変参考になりました。自分のことをコントロールできる子に育てられるよう、子どもとよく会話をし、中学生等になってもいろいろ話してくれるような関係を築けたらいいなと思っています。
- ・自分の子育てを振り返り、今からでも間に合うことをやっていきたい。忙しさに追われ過ぎず、一緒に何かをする経験をたくさんして絆を深めたい。取り上げること、やめさせることはできないが、自分で決めて上手に付き合っていられるよう我が子と考えていきたい。
- ・生活を振り返るきっかけとなりました。普段から「どうかしなくては」と思っていたことに対して、しっかり向き合うきっかけとなりました。
- ・お下がりスマホを持つ子どもたちの話をたまに聞きますが、それがクレジット等と紐づいていることを意識していませんでした。今日の先生のお話を聞いて、そうしたことに関しても気を付けていかなければならないと気が付くことができました。ネットとの付き合い方に関する指導の有無が子どもたちの健康や人間関係、学習効果にとって大きな影響があることが分かりました。また、自分でコントロールしたり、自分で善悪を正しく判断しようとしたりすることを目指すことの大切さを痛感しました。